

## 臨床研究内容 ホームページ公開用

### 1. 研究課題名称

急性期脳卒中患者における機能障害と能力障害の関連性および転帰に与える影響の調査

### 2. 研究の背景・目的

脳卒中リハビリテーション(以下、リハ)は廃用症候群を予防し、早期に日常生活動作を向上させ社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに急性期からの積極的なリハを行うことが本邦のガイドラインにて強く勧められています。また、近年急性期病院の在院日数は短縮傾向であることから、発症後早期から効率的な機能回復を促すリハビリテーションの実施と同時に、自宅退院の可否や回復期病院転院の適応などを早期の段階で予測し、医師や看護師、ソーシャルワーカーなどの他職種と情報交換を行う必要性が求められています。脳卒中後の転帰を予測することで、その情報がより効果的な治療計画と管理を可能にします。本研究では急性期脳卒中患者におけるリハビリテーションデータベースを作成し、機能障害と能力障害の関連性および退院転帰に関連する因子分析を目的とします。

### 3. 対象者および対象期間

対象期間は2021年1月～2023年12月までに製鉄記念八幡病院へ脳卒中の診断にて入院し、リハビリテーションを施行した患者様となります。

### 4. 研究内容

本研究は、急性期脳卒中の患者様における機能障害と能力障害の関連性および転帰に与える影響を明らかにするための研究です。上記、期間・対象者の患者様の診療録より診断・病歴・検査・リハビリテーション内容などの情報より一部登録させていただきます。当院で収集したデータは個人情報保護法に基づきプライバシーは保全された上で解析します

主要評価項目は、発症6か月後における日常生活動作と退院転帰先とし、急性期病院入院中における身体機能および入院時の経過要因の関連性を解析します。

### 5. 個人情報の管理について

収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 6. 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。データの集計の際は患者名をコード化し、個人を特定できないように配慮します。

## 7. 問い合わせ先（当施設研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 山内康太

805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318